

人権・平和部会 実技・理論 研修会 終了報告

テーマ	江別であった戦争について考える	
日時	平成30年7月27日(金)	
会場	江別市郷土資料館(江別市市緑町西1丁目38)	
講師	園部真幸氏 江別市郷土資料館学芸員(元副館長)	
参加者	19名	
研修会 の様子		○資料館は、江別市立江別第一小学校の道路向いに位置しています。JR江別駅からは徒歩で15分ほどです。
		○初めに20分ほど、資料館内を見学しました。園部先生の案内で江別で出土された土器や石器などについても説明をいただきました。資料館は1Fと2Fにあります。資料は充実していて江別市の歴史がよくわかる資料でした。
		○木製飛行機「キ106」の車輪です。王子製紙工場で3機制作されました。2機は丘珠空港まで飛行し、そのうち1機は東京の福生飛行場まで飛行した記録が残っています。残りの1機がどうなったかは不明です。
		○戦後、資料は全て廃棄するようGHQに求められたのですが、当時の職員の方が惜しんで資料を缶に詰め川に沈め隠しました。戦後、そのことがわかり金属探知機を使い発見したものです。
		○最後に園部真幸先生による戦時中に作られた木製飛行機「キ106」についてのご講話を30分ほど行っていただきました。